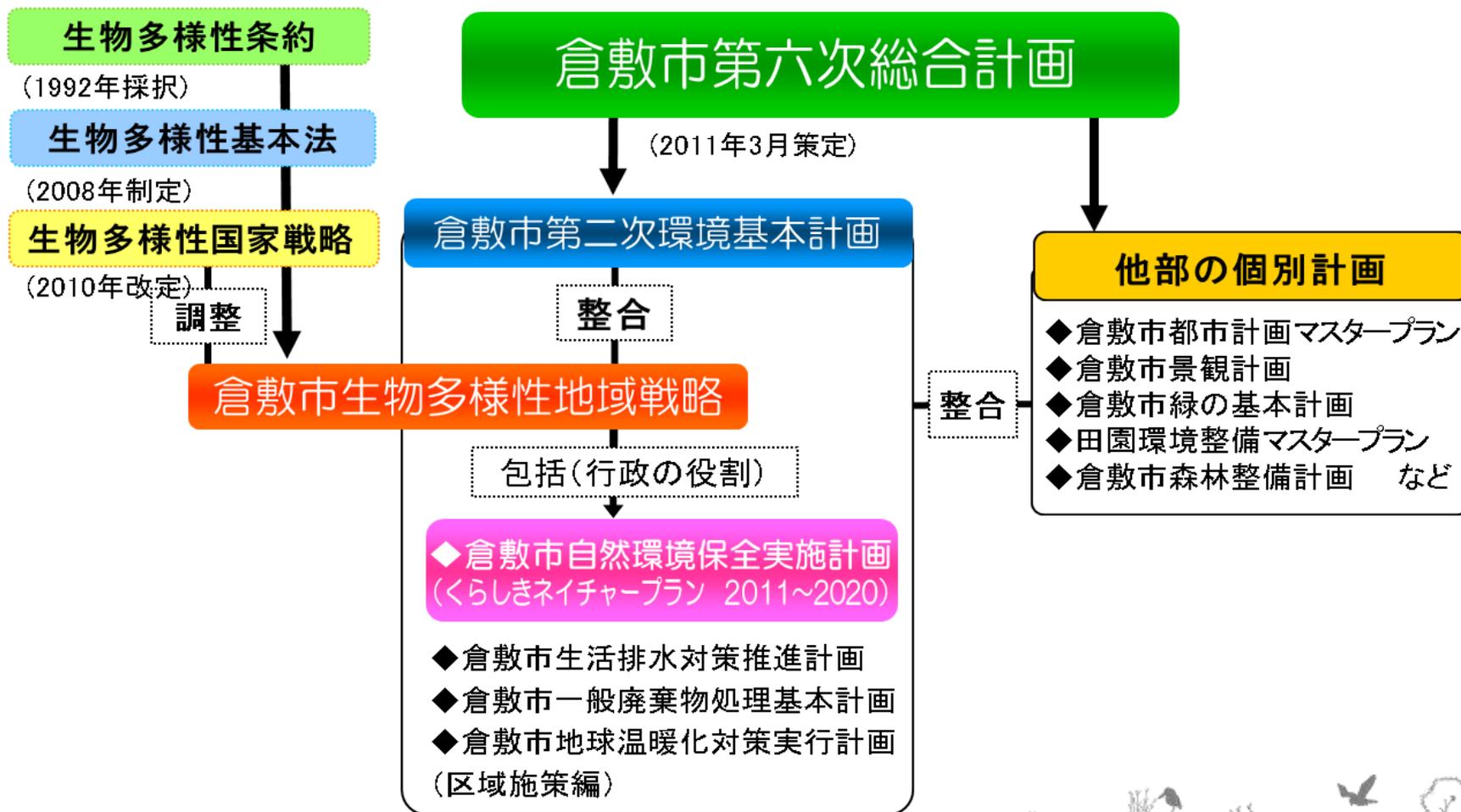


「戦略の短期的目標年次2020年度に向けて」
・
「環境教育の推進について」

倉敷市生物多様性地域戦略の位置づけ

倉敷市第二次環境基本計画のうち、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する項目を担う



倉敷市生物多様性地域戦略の目標期間

■ 戦略の短期的目標年次:平成32(2020)年度

- ・上位計画である「倉敷市第二次環境基本計画」との整合性を考慮
- ・生物多様性の普及啓発の推進と、生物多様性の持続的利用に向けた基盤づくりを行う期間



倉敷市自然環境保全実施計画(くらしきネイチャープラン)の
数値目標 / 取り組みの実施状況・実施計画を報告

■ 戦略の長期的目標年次:平成62(2050)年度

- ・岡山県の生物多様性地域戦略「自然との共生おかやま戦略」との整合性を考慮
- ・自然再生や社会基盤の再構築の取り組みもすすめる期間



2020年度に向けて・スケジュール

生物多様性地域戦略 見直しスケジュール（案）

	平成30年度			平成31年度												備 考	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
生物多様性地域戦略				H32年度の新規事業の洗い出し 倉敷市の生物多様性の現状と課題の把握												H30年度末：県野生生物目録の改訂 H31年度末：県レッドデータブックの改訂	
生物多様性審議会		第2回目開催					第1回目開催							委員任期更新	第2回目開催		
予算										予算要求 (印刷費や新規事業など)							
推進庁内会議	庁内会議														庁内会議		
助成事業（年2回を予定）							アドバイザー事業 (審議会)								アドバイザー事業 (庁内会議)		

	平成32年度												備 考			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
生物多様性地域戦略	戦略冊子の修正（次期目標など） 実施事業計画の修正（目標数値、各課取組内容）											戦略冊子の印刷 (予定)				
生物多様性審議会			第1回目開催				第2回目開催					第3回目開催				
予算							予算要求									
推進庁内会議												庁内会議				

報告内容の構成

- 基本目標達成に向けた、「数値目標達成状況」、「事業実施計画表」の2部で構成。
 - ・数値目標達成状況について
 - 基準年度(基準値)、達成年度(目標値)及び平成29年度実績値を記載、あわせて目標達成に向けた傾向を矢印➡で表記
 - ・事業実施計画表について
 - 事業項目を「リーディングプロジェクト」と「その他の取り組み」で表示
 - ・リーディングプロジェクト
 - ※生物多様性地域戦略の基本目標の実現に向けて戦略全体をリーディングする誘導的なプロジェクト事業
 - ・その他の取り組み(主にくらしきネイチャープランから継承するもの)



数値目標達成状況

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。								
番号	項目	基準値	基準年度	H29年度実績	傾向	目標値	達成年度	担当部署
1	自然環境基礎調査	1地区 (真備町妹)	2013 (H25)	0地区		継続実施	—	環境政策課
基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。								
1	自然環境に配慮したまちづくりができていると思う人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	27.4%	2009 (H21)	33.2%		54%	2020年 (H32)	環境政策課
2	地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	38.4%	2011 (H23)	39.7%		72%	2020年 (H32)	環境政策課
3	多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	32.5%	2009 (H21)	31.2%		56%	2020年 (H32)	環境政策課
4	都市公園の目標水準	7.79㎡/1人	2005 (H17)	8.15㎡/1人		10㎡/1人	—	公園緑地課
5	特定外来生物の防除	306頭: ヌートリア	2012 (H24)	269頭: ヌートリア		被害額の低減及び生息頭数の減少	—	環境政策課 農林水産課
6	自然環境に配慮した工法により整備された、河川やため池、護岸等の工事件数(H23年度からの積み上げ件数)	5件	2011 (H23)	31件		100件	2020年 (H32)	環境政策課
7	温室効果ガス排出量の抑制(市内全域)	3,957万トン	2007 (H19)	3,397万トン (H26)		3,482万トン	2020年 (H32)	地球温暖化対策室
8	市内で下水道を利用できる人の割合	71%	2010 (H22)	78.9%		79.7%	2020年 (H32)	下水計画課
9	合流式下水道を改善した面積の割合	22%	2010 (H22)	100%		100%	2015年 (H27)	下水計画課

数値目標達成状況

基本目標3 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。								
1	地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている企業の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	41.7%	2010 (H22)	24.8%		60%	2020年 (H32)	環境政策課
2	「環境保全型農業直接支援対策」取組面積	2,172a	2012 (H24)	3,820a		3,000a	2015年 (H27)	農林水産課
3	市民農園区画数	771区画	2012 (H24)	707区画		現状維持	—	農林水産課
4	新規就農者数	8人	2012 (H24)	17人		10人	2015年 (H27)	農林水産課
5	有機JAS認定農業者数(団体)	8団体	2012 (H24)	8団体		10団体	2015年 (H27)	農林水産課
6	おかやま有機無農薬農産物生産農業者数(団体)	6団体	2012 (H24)	6団体		10団体	2015年 (H27)	農林水産課
基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。								
1	自然の中で遊ぶことが楽しいと思っている子どもの割合(倉敷市第六次総合計画指標)	87.6%	2009 (H21)	85.3%		95%	2020年 (H32)	環境政策課
2	親子・家族で日常的に自然にふれあえる場があると思う人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	58.4%	2009 (H21)	55.6%		77%	2020年 (H32)	環境政策課
3	身近な自然を守る活動を行っている人の割合(倉敷市第二次環境基本計画指標)	10.9%	2009 (H21)	9.5%		20%	2020年 (H32)	環境政策課
4	自然がかけがえの無い大切なものだと感じている子供の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	71.7%	2009 (H21)	76.9%		95%	2020年 (H32)	環境政策課
5	自然にふれる活動に参加している子どもの数(倉敷市第六次総合計画指標)	14,537人	2009 (H21)	13,171人		19,700人	2020年 (H32)	環境政策課

倉敷市生物多様性地域戦略に係る行動計画

基本目標

1.倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

2.身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全，回復，再生する。

3.生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

4.倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

取り組み

1.生物多様性調査の実施

2.生物多様性に係る情報の整備・充実

1.総合的・計画的な保全体系の拡充

2.地域の自然と生態系ネットワークの保全

3.地域ごとの自然環境の保全

4.重要地区の保全

5.希少野生生物の生息・生育環境の保全

6.外来生物対策

1.環境配慮型農業と地産地消の推進

2.生物多様性への配慮した地域開発と産業事業活動の促進

1.市民への環境学習機会の提供

2.支援者、指導者の育成

3.子どもたちへの環境教育の充実

4.社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援

5.エコツーリズム等の推進

6.自然とのふれあいの促進

恵み豊かな瀬戸内の自然を、未来に向けてみんなの手で引き継いでいるまち倉敷

基本目標4: 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

➤ 4-1 市民への環境学習機会の提供

■ 保全に向けた普及啓発活動／自然保護監視員研修会・連絡会議

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト
シンポジウムや講演会等による生物多様性保全に向けた普及啓発活動をする



くらしき環境フェスティバル・講演会

<29年度実施状況>

- ・くらしき環境フェスティバル
山田まりや・室谷真由美氏による講演会
「地域の食を知り、美しさと健康を！」を実施。

<30年度事業>

- ・くらしき環境フェスティバル
鎌田安里紗・渡邊智恵子氏による講演会
「私とエシカルファッション！」を実施。
- ・自然保護監視員を対象に、年2回の研修会を実施予定。



自然保護監視員研修会(年2回)



基本目標4:倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

➤ 4-2 支援者、指導者の育成

■ 生物多様性に関する環境学習システムの推進

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト

教諭等を対象とした研修を行い、子どもたちが地球に優しい取り組みを実践することにつながる



市役所庁内研修会(年2回)

<実施事業>

・教職員等環境教育・学習推進リーダー育成研修

「カリキュラム・デザイン・コース」

参加者27名(うち教職員9名・大学生6人含む)。

外部講師を東京から招いて、教科横断型のカリ

キュラム・デザイン力や実践力を高めることを目

的に開催した。

棚橋 乾先生

(東京都多摩市立連光寺小学校 校長)

關口 寿也先生

(東京都多摩市立南鶴牧小学校 校長)



基本目標4:倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

➤ 4-2 支援者、指導者の育成

■ 指導者養成講座の開催／自然環境保全マニュアル研修会

【計画・事業の概要】

高梁川流域における生物多様性保全をテーマとする環境教育研修／庁内研修会



＜実施事業＞

- ・持続可能な地域づくりに向けた若者の学び
主催：環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会（事務局：みずしま財団）
参加者77人（大学生以下40人・大人37人）。

＜庁内研修会＞

- ・「生物多様性と持続可能な社会（ESD）について～一人ひとりができることからはじめよう～」
- ・「自然にやさしい公共工事をめざして～防災・減災との両立～」

外部講師を招いて年2回実施し、庁内の支援者・指導者の育成に努めた。



ライフパーク倉敷



市役所庁内研修会（年2回）

基本目標4:倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

- 4-3 子どもたちへの環境学習の充実
 - 自然とふれあうイベント等の開催

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト

子どもたちや親子で参加する自然体験イベントや、自然とふれあう活動を支援する



エコサマースクール



かるがもキャンプ



子育て支援・観光モデルコース 児島公民館・連携講座



＜実施事業＞

- ・子どもたちや親子で参加する自然体験イベントや自然とふれあう活動を支援する。
(エコサマースクール・水辺教室・海辺教室など)
- ・障がい児やその兄弟などを対象としたキャンプを、少年自然の家で開催する。(かるがもキャンプ)
- ・子育てポータルサイト等を通じ、子どもたちや親子で参加する自然体験活動を支援する。
- ・公民館(児島・玉島公民館)と連携して自然体験ができる講座を実施できるよう支援した。

基本目標4:倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

- 4-4 社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援
 - 自然共生圏を意識した地域交流、経済活動の支援

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト

高梁川流域など本市が関わる自然共生圏を対象とした地域交流イベント、経済活動を支援



水島公民館・連携講座



＜実施事業＞

- ・水島公民館との連携講座として、市内3校のSSHの高校である玉島・清心女子・天城高校生による自然環境講座を初開催した。
玉島(11名)、清心女子(3名)、天城高校(7名)ほか、社会人を含め28名が地域交流できた。



高梁川流域連携中枢都市圏事業

- ・「高梁川でつながる森・里・川・海の力」を倉敷美観地区を舞台に実施し、高梁川流域を含めた人達延べ126名が参加。

午前:セミナー49名
午後:エコツアー77名

基本目標4:倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

- 4-4 社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援
 - 自然保護団体への活動を支援

【計画・事業の概要】

各種自然保護団体への活動を支援する



干潟の観察会(高梁川河口)



＜実施事業＞

「倉敷の自然をまもる会」の活動支援。

- ・春には高梁川河口の干潟で生物調査を兼ねた観察会を実施した。(H30年度で3年目)
- ・玉島沙美海岸に自生する絶滅危惧種ハマビシの保全地の整備を支援した。



ハマビシ保護地



酒津での川遊びエコツアー

「酒津のホタルを親しむ会」の活動支援。

- ・酒津での川遊びエコツアー開催を支援した。

基本目標4: 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

- 4-5 エコツーリズム等の推進
- 生物多様性エコツアーの推進

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト

本市の進める生態系ネットワークの取り組みをはじめ、経済的に循環している市内外の優良な企業の取り組みの現場等を巡るツアーの実施及び市民団体等による実施を支援

森・里・川・海の力 2018
開催日時 2018年 10月 27日(土) 10:00～
参加費: 無料(当日の参加費は別途) 10月19日(水)
ところ: 倉敷・林業十郎商店3階 高梁川流域
主催: 倉敷市 協力: 高梁川流域自治体 後援: 環境省中国四国地方環境事務所

森・里・川・海の力 2029
開催日時 2029年 10月 14日(土) 10:00～17:00
参加費: 無料(当日の参加費は別途) 10月19日(水)
ところ: 倉敷・林業十郎商店3階 高梁川流域
主催: 倉敷市 協力: 高梁川流域自治体 後援: 環境省中国四国地方環境事務所

<29年度実施状況>

- ・平成29年10月14日(土)10時～17時
- ～つなげよう、支えよう 森里川海～
- 「高梁川でつながる 森・里・川・海の力」

<30年度事業>

- ・平成30年10月27日(土)10時～17時15分
- ～つなげよう、支えよう 森里川海～
- 「高梁川でつながる 森・里・川・海の力」

エコツアーの開催に関心のある個人・団体に対し、実践的な講習会を実施した。

基本目標4:倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

➤ 4-6 自然とのふれあいの促進

■ 自然とのふれあい事業の開催

【計画・事業の概要】 リーディングプロジェクト

水辺教室、海辺教室、自然観察会、天体観察会、星空観察会などの自然とのふれあい事業を開催する



水辺教室



海辺教室

<29年度実施状況>

- ・水辺教室:親子37人参加
/ 高梁川河川敷(元水江の渡し付近)
- ・海辺教室:親子28人参加
/ 児島通生の浜



自然観察会



特別展

「チョウきれい！チョーたのしい昆虫展」

<30年度事業>

- ・倉敷市立自然史博物館では、友の会などと協力してさまざまなテーマで自然観察会、講座等を開催しています。(総数58件)